



Meet Up 和歌山 #5

定員30名
入場無料



継業 という受け継ぎ方。

地域で営まれてきた「なりわい」を継ぐ

新たな移住のカタチ、**継業**が注目を集めています。
事業承継とは少し違う、地方ならではのなりわいづくり。
全国の継業事例を、継業提唱者の一人、嵩さんがお話します。
和歌山県の継業支援の挑戦と、継ぎ手を探す事業主の思いとは？

2018.2.4(日)

16:30～18:00(19:30まで会場open)

ふるさと回帰支援センター・セミナールームA

わかやま移住者継業支援プロジェクト

和歌山県では、継ぎ手を探す事業主と県外からの移住者のマッチングにより、事業を引き継ぎつつ、移住者ならではの目線で再活性化する「継業」の支援をはじめています。

セミナーコンテンツ

★ Guest Talk ～ 今、どうして継業なのか～

ゲストはふるさと回帰支援センター副事務局長の嵩さん。全国の“移住・継業”事例を日本一知っている人物かもしれません。地域でナリワイを受け継ぐことの意味やメリット/デメリットを事例とともに知って、イメージを膨らませてください。

★ 和歌山県が継業を後押しするワケ

全国で初めて、都道府県として継業支援をスタートした和歌山県。なぜ今、継業支援が必要か、継ぎ手を求めている事業主さんの想いを含めてお話します。

★ わかやま暮らし聞き比べタイム

スタッフが暮らす地域のくらし・しごと・住まいについてご紹介します。

★ Meet Upタイム(※参加任意)

ゲストやスタッフとじっくり交流したい方はこちらどうぞ。

継ぎ手を探す
事業主さんが参加！

SPECIAL GUEST

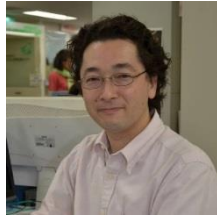


麻野 吉男さん(左)

大阪府出身。東京大学文学部卒。大学卒業後に故郷・大阪で農業に取り組むなかで、消費者オンリー農の世界の門口を広めたいとの想いを抱き、農家のネットワークづくりや情報発信に取り組む。活動中に会った町議の誘いを受け、平成12年に田辺市本宮町へ移住。農を通じた移住・交流を目指し、熊野出会いの里を立ち上げる。現在、麻野さんの想いを受け継ぎ、築120年の古民家ゲストハウス「omoya」を運営し、この地の魅力を発信してくれる移住希望者を求めています。

TALK GUEST

嵩 和雄さん



NPOふるさと回帰支援センター副事務局長。
1972年東京生まれ。2001年に阿蘇地域振興デザインセンター研究員を経て熊本県小国町の(財)学びやの里に所属。九州ツーリズム大学、廃線跡地活用事業等、都市農村交流事業に携わる。
2009年から現職。全国を飛び回り地方の今を日々研究している。「継業」の提唱メンバーのひとり。

★ 参加自治体・団体

田辺市 (継ぎ手を探す事業主の登録あり！)
和歌山県ふるさと定住センター
和歌山県



参加をご希望の方は、①お名前 ②ご年齢 ③居住地(都道府県) ④お電話番号 ⑤メールアドレス ⑥参加人数を明記し、下記までお申込みください。

【申込先】わかやま定住サポートセンター(東京) 担当: 芝

☎03-6269-9883 ✉ wakayama1@furusatokaiki.net

＼WEBからもお申込み可能／

WAKAYAMA LIFE

